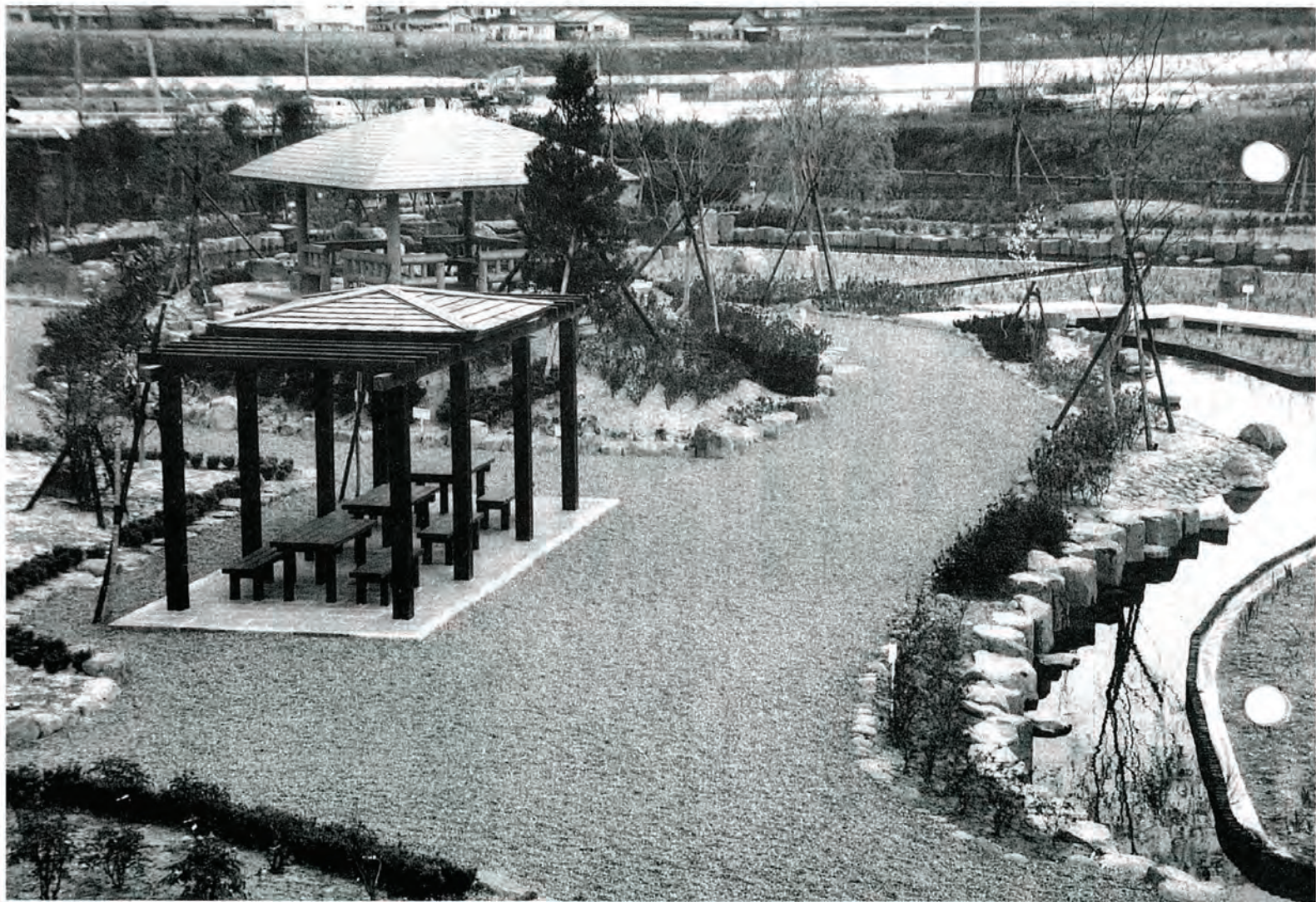


の 広報 さざぎ

第214号
平成5年度
予算特集号



整備が進む皿山公園

—写真は『ほたるの里 菖蒲園』—

- ◇ 明るく健康で
- ◇ うるおいと活力に満ちた
- ◇ 住んで幸せを感じるまちづくり

21世紀を創造するまちづくり

会計別予算

一 般 会 計	4,530,000千円
国民健康保険	703,202千円
特 別 会 計	
診 療 所	147,053千円
老 人 保 健	901,111千円
工場団地造成事業	19,400千円
水 道 事 業	252,743千円
公共下水道事業	426,800千円
佐々町土地取得	7,956千円
総 額	6,988,265千円

予算総額

69億8,827万円



佐々町長 清原 恵一郎

町長の施政方針

我が国の社会情勢は、二十世紀を間近に控え、様々な面で急激に大きく変貌しようとしています。

また、経済が引き続き低迷し、資産価格の下落もあって厳しい状況に直面していることなどを反映し、税収等は法

人関係の税の落ち込みなどにより、その伸び率が鈍化するの見込まれますので、町財政運営に当たっては、今後の経済動向を十分注視し、税収動向を的確に把握する必要があります。また、多額の公債残高を抱えており、財政の健全性の確保に努力していかねばなりません。

一方、自主的・主体的な活力ある地域づくり、生活関連社会資本の整備、高齢化社会の進展への対応等、今後ますます市町村への一般財源化が

求められ、現下の重要政策課題を推進していく上で、町政はますます大きな役割を担うよう求められています。

これに加えて、本年度は、我が国経済の現状から、景気対策にも配慮した地方単独事業の積極的推進が強く期待されています。

こうした状況にあって、平成五年度の町財政運営は厳しいものがありますが、町民の皆様がしみじみと住んで幸せを感じる質の高い生活の実現を目指すために、創意と工夫により、時代の要請にこたえるべく事業の推進を図るとともに、高齢化時代の福祉対策に対応できるよう諸施策を推進

し「明るく健康でうるおいと活力に満ちた町づくり」並びに基本構想の中の「田舎の良さ」と都会の利便さを兼ね備えた「美しく 楽しく たくましく まちづくり」に取り組んでまいります。

このため、平成五年度の予算編成に当たっては、財政の簡素効率化と経費の節減・合理化を推進し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に徹し、財政の健全性の確保及び住民福祉の向上に努めるよう予算編成を行いました。

今後共、町民皆様のご支援とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

平成五年度当初予算可決

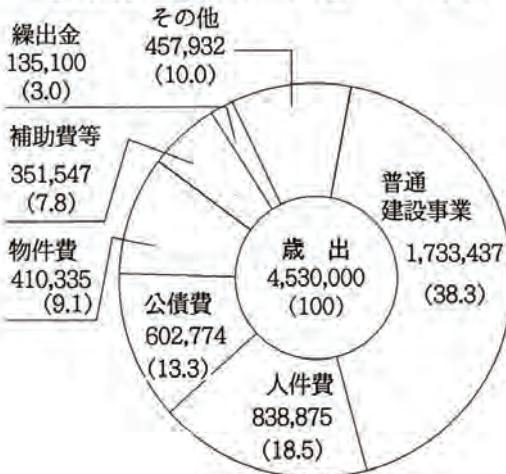
平成五年度予算案を審議する三月定例議会が八日から二十四日まで開かれ、総額四十五億三千万円の一般会計予算などが可決されました。

まず、一般会計の歳入をみると、総額四十五億三千万円の歳入のうち、町税七億九千九百八十七万四千六百六十九円（十七・六％）、地方交付税十七億八千九百三十九万三千七百三十七円（四一・一％）、国県支出金七億三千五百六十三万三千六百六十九円（一六・二％）、繰入金一億九千九百二十七万四千四百四十四円（四・四％）、その他三億七千八百七十二万四千四百四十四円（八・四％）となっています。

性質別歳出状況

単位千円（ ）内は％

その他の内訳			
扶助費	299,205	貸付金 1,646	
維持補修費	33,531	失業対策事業	41,087
積立金	39,405	災害復旧事業	2
投資及び出資金	305	その他	42,751



一般会計は45億3,000万円

歳入歳出予算

歳入

歳出

(単位：千円)

款	項	金額	款	項	金額
1. 町 税		799,080	1. 議 会 費		96,760
	1. 町 民 税	386,045		1. 議 会 費	96,760
	2. 固 定 資 産 税	334,337		2. 総 務 費	505,337
	3. 軽 自 動 車 税	14,334		1. 総 務 管 理 費	378,688
	4. 市 町 村 た ば こ 税	59,033		2. 徴 税 費	92,019
2. 地 方 譲 与 税		89,000	3. 戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	29,423	
	1. 消 費 譲 与 税	40,000	4. 選 挙 費	3,321	
	2. 自 動 車 重 量 譲 与 税	30,000	5. 統 計 調 査 費	416	
3. 利 子 割 交 付 金		20,000	6. 監 査 委 員 費	1,470	
	1. 利 子 割 交 付 金	20,000	3. 民 生 費	585,970	
	2. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	28,000	1. 社 会 福 祉 費	349,618	
4. 自 動 車 取 得 税 交 付 金		28,000	2. 児 童 福 祉 費	236,347	
	1. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	28,000	3. 災 害 救 助 費	5	
5. 地 方 交 付 税		1,780,000	4. 衛 生 費	286,027	
	1. 地 方 交 付 税	1,780,000	1. 保 健 衛 生 費	145,501	
6. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		1,500	2. 清 掃 費	108,482	
	1. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,500	3. 上 水 道 費	680	
7. 分 担 金 及 び 負 担 金		63,674	4. 診 療 所 費	30,000	
	1. 負 担 金	63,674	5. 保 健 衛 生 諸 費	1,364	
8. 使 用 料 及 び 手 数 料		84,988	5. 労 働 費	44,615	
	1. 使 用 料	79,088	1. 失 業 対 策 費	87	
	2. 手 数 料	5,900	2. 産 炭 地 域 開 発 就 労 事 業 費	41,000	
9. 国 庫 支 出 金		456,338	3. 労 働 諸 費	3,528	
	1. 国 庫 負 担 金	170,649	6. 農 林 水 産 業 費	444,207	
	2. 国 庫 補 助 金	277,546	1. 農 業 費	434,686	
	3. 委 託 金	8,143	2. 林 業 費	9,116	
10. 県 支 出 金		279,290	3. 水 産 業 費	405	
	1. 県 負 担 金	81,113	7. 商 工 費	252,545	
	2. 県 補 助 金	183,871	1. 商 工 費	252,545	
11. 財 産 収 入		41,863	8. 土 木 費	1,090,168	
	1. 財 産 運 用 収 入	41,821	1. 土 木 管 理 費	56,041	
	2. 財 産 売 払 収 入	42	2. 道 路 橋 梁 費	268,362	
12. 寄 附 金		1,808	3. 河 川 費	39,134	
	1. 寄 附 金	1,808	4. 港 湾 費	50	
13. 繰 入 金		199,271	5. 都 市 計 画 費	688,231	
	1. 基 金 繰 入 金	198,744	6. 住 宅 費	38,350	
	2. 特 別 会 計 繰 入 金	527	9. 消 防 費	132,376	
14. 繰 越 金		1	1. 消 防 費	132,376	
	1. 繰 越 金	1	10. 教 育 費	412,983	
15. 諸 収 入		47,887	1. 教 育 総 務 費	48,986	
	1. 延 滞 金 加 算 金 及 び 過 料	200	2. 小 学 校 費	130,048	
	2. 預 金 利 子	6,000	3. 中 学 校 費	71,157	
	3. 貸 付 金 元 利 収 入	475	4. 幼 稚 園 費	31,875	
	4. 雑 入	36,212	5. 社 会 教 育 費	113,528	
16. 町 債		637,300	6. 保 健 体 育 費	17,389	
	1. 町 債	637,300	11. 災 害 復 旧 費	2	
歳 入 合 計		4,530,000	1. 農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	2	
			12. 公 債 費	602,784	
			1. 公 債 費	602,784	
			13. 諸 支 出 金	2	
			1. 普 通 財 産 取 得 費	2	
			14. 予 備 費	76,224	
			1. 予 備 費	76,224	
			歳 出 合 計	4,530,000	

一般会計歳入歳出予算の内訳

単位：千円（ ）内は%

町税の内訳

(単位：千円)

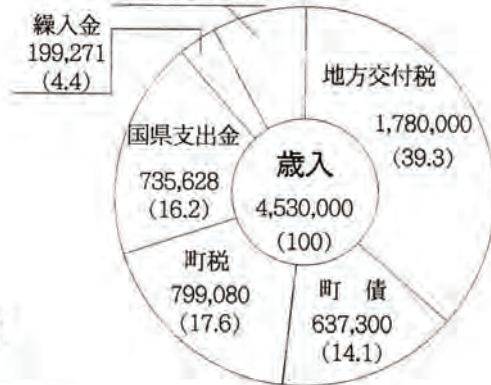
区 分	金 額
町 民 税	386,045
固 定 資 産 税	334,337
軽 自 動 車 税	14,334
市 町 村 た ば こ 税	59,033
特 別 土 地 保 有 税	5,331
合 計	799,080

その他の内訳

地方譲与税	89,000	交通安全対策特別交付金	1,500
使用料及び手数料	84,988	寄 附 金	1,808
分担金及び負担金	63,674	繰 越 金	1
自動車取得税交付金	28,000	諸 収 入	47,887
利子割交付金	20,000	財 産 収 入	41,863

その他

378,721 (8.4)



町民一人（一世帯）当りの予算額

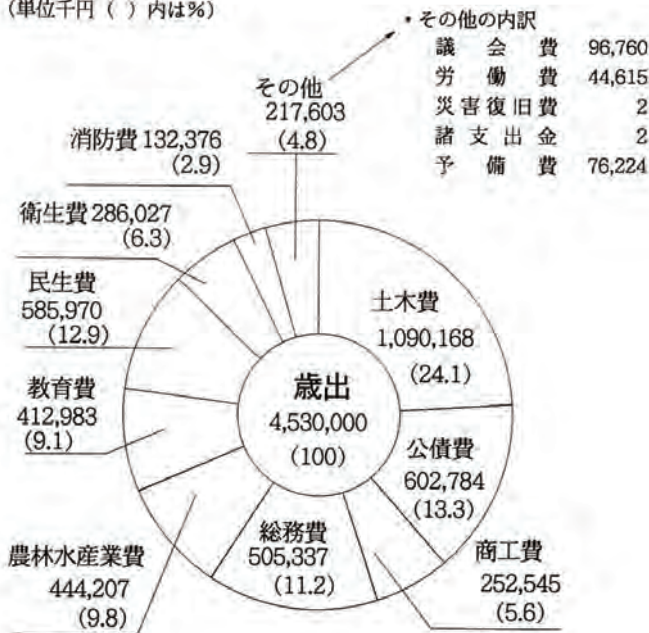
(平成5年3月末 人口12,428人 世帯数3,933)

負担する町税	1人当り	64,297円	使われるお金	1人当り	364,500円
	1世帯当り	203,173円		1世帯当り	1,151,793円

主 な 事 業

事 業 名	
補助事業	消防施設等整備事業（防火水槽新設）
	中山間地域農村活性化総合整備事業
	交通安全施設等整備事業
	正興寺橋線橋架整備事業
	小浦都市下水路整備事業
	土地区画整備事業調査費
	口石小学校給食調理室改築事業
単独事業	議会テレビ中継システム
	電算室改築工事
	カーブミラー取付取替工事
	「ふるさとの川佐々川」総合計画策定委託
	佐々西部自然公園整備事業
	登り窯付帯工事
	第2保育所フェンス工事
	公営住宅補修工事
	佐々町農業振興事業補助金
	土地改良施設維持管理適正化事業
	佐々町農業土地基盤整備事業補助金
	水田農業確立排水対策特別事業
	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備
	学童農園キャンプ場等工事
	県営水源かん養ミニダム整備事業
	道路台帳補正整備他委託料
	町道改良舗装工事
	下水路整備事業
	佐々川桜つつみ整備工事他
	佐々町公共下水道事業特別会計繰入金
	中部地区まちづくり事業
佐々小音楽室入口防音工事	
口石小給水管取替工事他	
中学校体育館天井取替工事他	
公民館屋上キューピクル取替工事他	
南部地区体育館殺虫器取付工事他	
末永地区集会所建設事業	

(単位千円（ ）内は%)



その他の内訳

議会費	96,760
労働費	44,615
災害復旧費	2
諸支出金	2
予備費	76,224

お金の使われ方

魅力的な ふるさとづくり

一総務一

人件費、その他経常経費のほか、職員の知識向上のため前年度に引き続き中央研修費十名分を計上しています。また、開かれた議会を目指すため、議会テレビ中継システムの導入、及び電算単独導入のための庁舎改造経費等を計上しています。

企画費については、基本構

・議会テレビ中継システム及び電算室改築費	46,000千円
・町内会長事務交付金	12,630千円
・交通安全対策費	2,827千円
・広報防災費	4,934千円
・電子計算費	26,160千円
・人材育成イベント産業育成事業	7,200千円
・財政町政基金積立	6,500千円
・佐々町工場団地特別会計繰出金	19,390千円
・商工会助成金	6,000千円
・祭り費	3,657千円
・佐々西部自然公園整備事業費	200,000千円
・西部自然公園管理費	9,884千円

想におけるまちづくりのテーマ「佐々川を愛し二十一世紀を創造する町」を推進するため「ふるさと川 佐々川総合開発計画」を策定します。また、住民の余暇時間の有効活用を図るため「図書館」の建設について、住民並びに専門家の意見を聞いて、基本計画を策定します。

電源地域振興センターの研究制度を活用して、計画的に職員研修を行います。

佐々工場団地への企業誘致の早期実現を目指し、県の指導のもと誘致活動を展開するための経費を計上しています。

ふるさと創生については、一億円の果実(運用益)で人材育成、イベント、産業育成の各事業を行います。

電子計算費については、今年度は「住民基本台帳関連業務」の開発を行い、十一月の本稼働を目指します。開発にあたっては、できる限り「住民サービスの向上」及び「事務の合理化」を図ります。

商工業振興については、佐々町の祭りのあり方について研究するための費用として、「祭り費」を計上します。

た。佐々西部自然公園整備事業については、平成二年度から四年度まで「地域づくり推進事業」として取り組み、一応の完了をみましたが、更に皿山公園周辺を充実させるため「ふるさとづくり事業」として整備します。

また、佐々西部自然公園施設管理費として、窯体験施設、イベントステージ、菖蒲園、遊具施設等の管理費を計上しております。

生きがいをもてる福祉を 一福祉一

これからの社会福祉は「地域」がキーワードとなり、住民に密着した地方行政の積極的な取り組みや、民生委員、社会福祉協議会を中心とした民間のボランティア活動の推進による魅力的な地域づくりが求められています。

そのために、今年度は昨年度のアンケート調査に基づいて「老人保健福祉計画」を策定し、本町の将来の老人福祉のあり方を定め、誰もが健康で生きがいをもって暮らすことができる福祉の町づくりのため努力いたします。

一般社会福祉の諸経費は、前年度同様に計上していますが、本年度から身体障害者施設入所等の権限移譲により扶助費が増加しています。



楽しみながら機能回復訓練

福祉医療費の支給、身体障害者の日常生活用具給付(貸与)、事業の充実を図り、障害者本人及び家族の経済的、精神的負担の軽減を図ることにより福祉の向上に努めます。

老人福祉については、国が示している「高齢者保健福祉推進十か年戦略」を基本とし寝たきり老人ゼロ作戦を重要な柱として、福祉給食サービス事業(平成五年一月から実施)、デイ・サービス事業、ショートステイ事業、ホームヘルパー派遣事業の充実を図ります。

また、高齢者の生きがい対策としては、高齢者のスポーツ活動生きがいと創造の家を活用した生産創造活動の充実を努めます。

本年度から、老人措置権の

権限移譲により、老人保護措置費を扶助費に計上しています。

児童福祉施設費の保育所については、特別地域活動事業(高齢者のふれあい招待会等)を通じて、豊かな人間性を持った子供を育成するよう努めます。

・町社会福祉協議会運営費補助金	12,494千円	・ホームヘルパーサービス事業委託料	9,594千円
・民生委員活動費補助金	2,400千円	・老人保護措置費	169,752千円
・福祉医療費	13,250千円	・民間保育園委託料	41,370千円
・国民健康保険特別会計繰出金	31,300千円	・二次救急医療費運営負担金	1,386千円
・国民年金電算処理委託料	1,317千円	・ガン検診等委託料・一般検診委託料	10,799千円
・敬老年金	9,026千円	・老人保健特別会計繰出金	46,454千円
・老人センター運営委託料	6,900千円	・塵芥処理組合へ	67,065千円
・デイ・サービス事業委託料	14,960千円	・し尿処理組合へ	38,866千円
・老人クラブ助成	1,440千円	・診療所特別会計繰出金	30,000千円
・在宅寝たきり老人介護手当	3,000千円	・健康づくり推進費	1,364千円
・福祉給食サービス事業費補助金	3,400千円		

快適な環境づくり

「環境衛生」

「ごみ」のないきれいな自然環境と、健康で生きがいある暮らしをすることができ「町づくり」を基本に実践してまいります。

一、保健衛生

高齢化社会を迎え、健康で生きがいのある、住みよい町づくを基本に事業の推進に努めます。

健全な生活はまず健康からであり、病気の予防・リハビリ対策に重点をおき、また、恵まれた自然の中で、健康な生活が営めるよう健康づくりの推進に努めます。

二、環境衛生

快適な環境で、やすらぎのあるきれいな町づくりのため町内河川水の水質調査、ごみの不法投棄等の監視に努め、ごみの減量と資源化のため、生ごみ堆肥化容器を設置する世帯に、費用の一部を助成します。

三、健康づくり

健康づくりの三原則の一つである食生活は、正しい食習慣に大きく左右されるため、食生活改善推進委員の協力を得て、幅広く地域に根ざした

活動を推進します。



食生活改善に取り組むみどり会

誇りと希望をもてる農業をめざして

「農林水産業」

農業について今日の農業情勢は、農産物の過剰基調からくる価格の低迷、牛肉・オレンジに次いで米までも輸入自由化の外圧を受け、水田営農活性化対策など、極めて厳しい情勢です。

このような認識のもと、地域農業の再編成を強力に推進し、農業者が誇りと希望をもって取り組める農業体制作りを推進します。

そのためには、生活環境整備・基盤整備等の活性化事業に努めると共に、消費者の健康・安全志向を背景に有機農産物の推進に努めます。

このようなことから、米消費拡大運動を兼ねて、銘柄確

立のためイベントを開催します。

農業委員会では、農地法に基づく諸申請の審議を、毎月開催します。

事業としては、合鴨農法による完全無農薬のうまい米作りを目指して、栽培農家による合鴨農法研究会の設立を進めます。

また、担い手農家の育成や後継者対策の花嫁、花婿対策として、佐世保と北松が一体となって「若人の集い」を進めていきます。

水田農業確立後期対策事業も終わり、本年度より水田営農活性化対策事業が三か年実施されます。転作目標達成はもとより休耕水田の有効利用を図ります。

園芸対策については、水稻の補完作物として推進している「みかん」「イチゴ」等を中心として、銘柄確立はもとより、面積の拡大、品質の向上を図ります。

畜産対策については、牛肉輸入自由化対策として畜産農家の経営の安定と向上を図るため、増殖運動を展開していきますが、本年度も肉用牛経営規模拡大事業を実施して、繁殖雌牛五十頭の導入を行います。

生活環境整備・農業生産基盤整備が遅れている中山間地域については、平成三年度から中山間地域農村活性化総合整備事業で整備を進めていますが、本年度は、集落道・農道整備及び圃場整備を実施する予定です。

基盤整備事業については、前年度から水田農業確立排水対策特別事業（大新田地区）及び農免農道（流合線）整備事業が実施されており、本年度も継続して県営事業で行われます。

林業については、緑豊かな国づくりを推進するため、国土の保全と林業生産基盤の整備を基本に林業の振興を図ります。

森林育成の一環として、県

営事業で水源かん養ミニダム整備事業（鴨川地区）が実施される予定です。

その他、北松森林組合へ指導費等の補助を行い、林業事業育成対策事業による作業班員の就労の安定化を図ります。

また、間伐促進強化対策事業により育成途上にある人工林の質的な整備を図ります。水産業については、佐々川内水面振興協議会に補助を行い、水産動物資源の保護培養に努めます。

生活環境の整備

「建設・消防」

住民の要望である生活道路や河川、公園、下水路の整備等、緊急性の高い箇所等を重点的に、補助事業、起債事業及び単独事業により整備計画してまいります。

町道真申美渡世越線の改良は、産炭地域開発就労事業として引き続き行ってまいります。

交通安全施設等整備事業については、学童の通学の安全確保のため、町道神田線の歩道整備工事を継続して実施致します。

・農業委員会費	23,171千円
・農業振興事業補助金	5,000千円
・農免農道流合線地元負担金	4,000千円
・畜産活性化総合対策事業費	3,698千円
・水田農業確立排水対策特別事業費	75,000千円
・農地費	28,917千円
・中山間地域農村活性化総合整備事業	212,100千円
・学童農園施設管理費	16,840千円
・県営水源かん養ミニダム整備事業負担金	5,000千円
・佐々川内水面協議会負担金	350千円

・道路維持費	43,602千円
・道路新設改良費 (町道神田線舗 工事他)	158,660千円
・交通安全施設等整備事業	50,000千円
・正興寺橋線橋梁整備事業	13,000千円
・桜つつみ整備工事	37,944千円
・佐々町公共下水道特別会計繰 出金	144,274千円
・土地区画整備事業調査費	18,000千円
・小浦都市下水道整備事業費	435,000千円
・中部地区まちづくり事業費 (駅前線歩道整備)	89,000千円
・広域消防負担金	97,967千円
・防火水槽新設工事費	9,800千円



広域(常備)消防に9,800万円

また、佐々川河川改修工事に伴う正興寺橋の拡幅を兼ねた架替え工事も、完成しましたので、本年度は橋梁から国道二〇四号線までの区間を、アクセス道路として計画しました。



アクセス道路として整備される町道正興寺橋線

小浦都市下水道の整備については、本年度は二基目のポンプ設置のため、ポンプ場の非常備消防費では、消防設備の年次の整備を図るため、本年度は防火水槽二基の建設費を計上しました。

築造土木工事及び幹線・支線排水路の整備を行い、小浦地区の浸水地域解消を図る計画です。
また、中部地区まちづくり事業として、町道駅前線歩道の整備工事を計上しました。この他、土地区画整理事業として宮ノ前地区の調査を実施します。

心豊かな人づくり

―教育―

科学技術の革新、情報化、国際化、高齢化及び余暇時間の増大等、社会的諸条件の急変の中で、町民の学習要求の高度化、多様化が進んでいます。

本町では、基本構想に「情熱・創造・安らぎ」のある町づくりを掲げ、社会の変化に対応し、健康で生きがいと活力を持つ心豊かな人づくりをめざしています。

また、学校週五日制の段階的实施に伴い、学校・家庭・地域の連携を強化し、それぞれの教育機能を十分に発揮できるように、教育環境の整備が課題となっております。

このような認識に立ち、教育基本法の理念に基づき町の総合計画及び町民憲章の精神を尊重し、次代を担う青少年の健全育成はもとより、町民一人ひとりの生涯各期にわたる自発的学習が、適切かつ継続的に実践できるように、生涯学習時代への誤りのない対応を推進していきます。

また、郷土の自然や文化を生かしながら、町民自らが生きがいのある町づくりの形成者であるという、責任と自覚

を持ち、新しい地域社会づくりの連携を深めていく、社会教育の充実のため努力いたします。



建て替えられる口石小給食室

・教育委員会費	1,185千円	・少年健全育成業	2,868千円
・事務局費	42,928千円	・公民館費	23,457千円
・小学校費	66,332千円	・文化会館費	11,634千円
・中学校費	46,092千円	・保健体育総務費	5,746千円
・中学校体育館(天井貼 替、照明器具取替)整備	25,000千円	・体育振興事業費	3,400千円
・口石小校給食調理室改 築事業	63,716千円	・体育施設費	8,243千円
・外国青年招致事業	4,873千円	・文化財費	1,712千円
・幼稚園費	31,875千円	・芸術文化事業費	3,400千円
		・末永地区集会所建設 事業費	37,100千円

健全な財政運営を

―公債費―

公債比率は、平成二年度から十一パーセント台で推移していますが、今後も引き続き健全な財政運営を行うよう努めます。

起債の目的	限度額(千円)	起債の目的	限度額(千円)
佐々西部自然公園整備事業	150,000	町道神田線舗装工事	34,200
駅前線歩道整備工事	66,600	佐々川桜つつみ整備事業	7,300
町道真申美渡世越線道路改良事業	5,400	真申河川改修工事	20,200
水田農業確立排水対策特別事業	10,500	小浦都市下水道整備事業	102,300
中山間地域農村活性化総合整備事業	26,800	公共下水道整備事業	101,600
正興寺橋線橋梁整備事業	4,100	消防施設等整備事業	6,200
交通安全施設等整備事業	12,500	末永地区集会所建設事業	22,500
町道鴨川線舗装工事	10,800	口石小学校給食調理室改築事業	7,900
町道真申美渡世越線舗装工事	48,400		

特別会計

国民健康保険

今年度は、一般会計から国民健康保険特別会計への財政支援が制度化されました。

【歳入】

保険税、国庫支出金、療養給付費交付金等は、過去三年の実績で計上。また、特別調整交付金は、保健施設事業のヘルスパイオニア事業パトII分として三百万円計上し

ています。

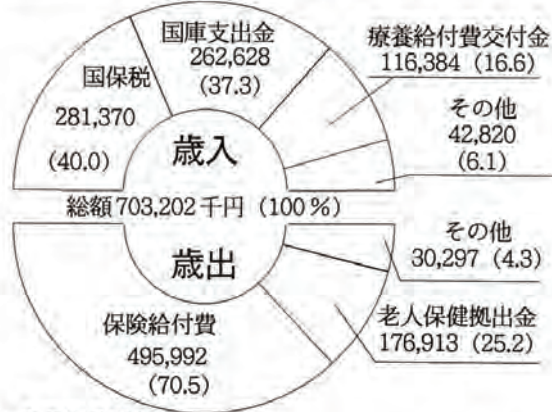
【歳出】

国保財政安定化支援事業の制度化が図られ、今年度から職員給与等は、一般会計に計上することとなりました。保険給付費については過去三年の実績で計上し、老人保健拠出金は、前々年度の実績で一億七千六百九十一万三千円を計上しました。

単位：千円（）内%

・その他の内訳

繰入金	31,300	使用料及び手数料	226
共同事業交付金	6,335	財産収入	3,298
諸収入	1,659	繰越金	2



・その他の内訳

総務費	5,386	共同事業拠出金	5,013
予備費	9,700	諸支出金	845
保健施設費	6,055	積立金	3,298

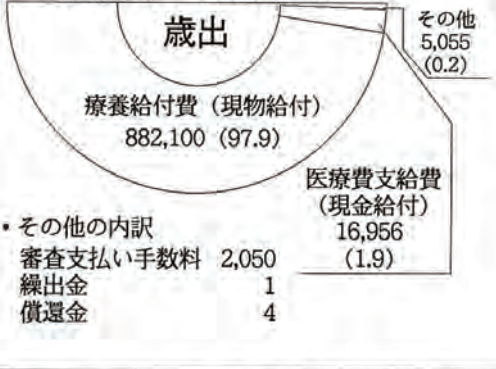
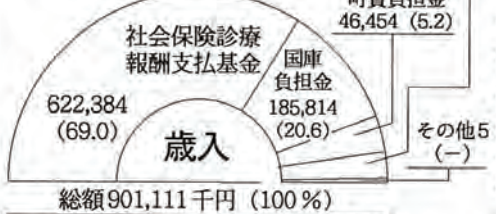
老人保健

昭和五十八年二月、老人保健法が始まってから数回の制度改正があり本年度は対象者の増加自然増を見て八・〇%の伸びを予定して計上。医療費内訳は次のとおりです。

単位：千円（）内は%

・その他の内訳

繰越金	1	卓費負担金	46,454 (5.2)
諸収入	4	町費負担金	46,454 (5.2)



・その他の内訳

審査支払い手数料	2,050
繰入金	1
償還金	4

診療所

【歳入】

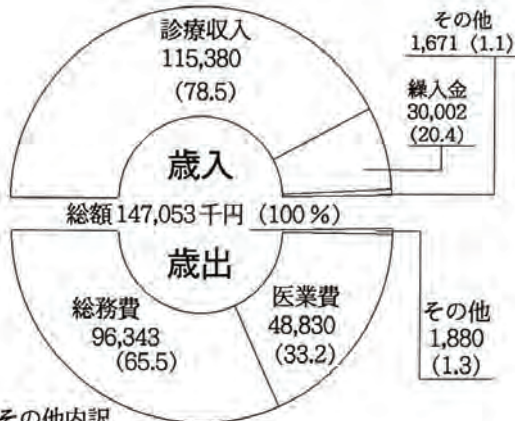
診療収入は、入院患者一日平均七・五人(年間延二千七百三十七人)、外来患者一日平均七十五人(年間延二万二千二百二十五人)を見込み、一億一千五百三十八万円を計上しています。

また、繰入金として一般会計から、地方交付税算入分四百万円を含めて三千万円、その他の収入を合わせて、歳入合計一億四千七百五万三千円

単位：千円（）内は%

・その他内訳

諸収入	819	財産収入	10
使用料及び手数料	841	繰越金	1



・その他内訳

予備費	1,475
公債費	395
基金積立金	10

【歳出】

本年度は、医師、看護婦等職員の人件費と臨時・パート雇用等の経費、一般経費など九千六百三十四万三千円を総務費に計上。また、医薬費として薬品・材料費、給食費、医療機器費など四千八百八十三万円。その他の経費、予備費等を含め、歳出合計一億四千七百五万三千円を計上しました。

水道事業

水道事業では、衛生的かつ安全でおいしい水づくりに鋭意努力しています。

上水道の給水については、一般会計で整備された角山地区の簡易水道施設が給水を開始し、高部の大部分は解消されましたが、なお一部の未給水地区については、地域の特殊性及び、財政事情等を検討すると共に、宅地開発等によ

る給水の増加に対応すべく、長期的な安定供給と水質保全に努めます。

更に、建設改良事業として老朽配水管改良工事及び漏水調査等を実施し、有収率の向上を図ります。

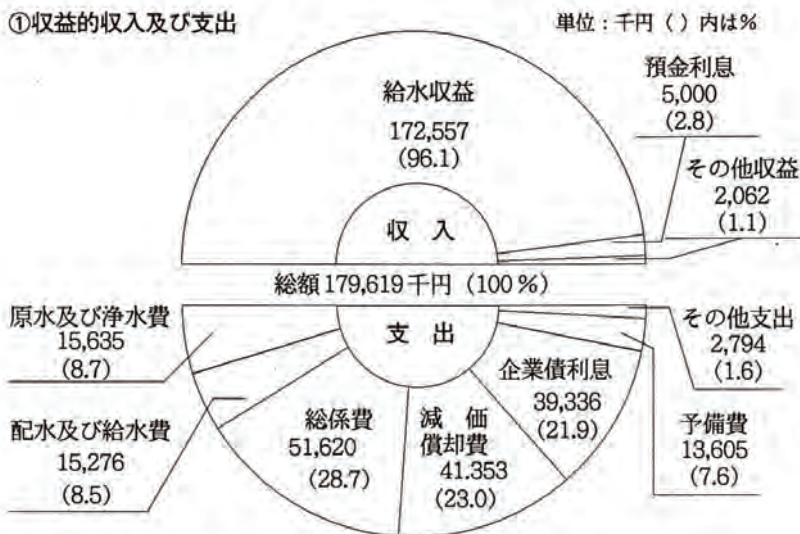
業務の予定量は、年間配水件数五万二千八百件（月平均四千四百件）、普及率九十八%、年間配水量百三十五万³m³、有収水量百八万³m³、有収率八十八%を見込み、給水を行う予定です。

公共下水道事業

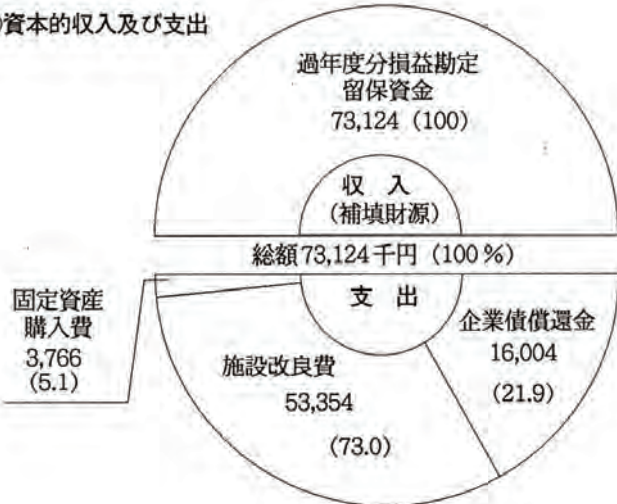
第一期事業として、平成九年度供用開始を目標に、平成三年度から下水道事業に着手しています。

本年度の主な事業内容としては、前年度に引き続き町道中央海岸線及び中央駅前地区に、幹線及び枝線管渠延長二千六百四十メートルの布設、並びに終末処理場敷地の整地工事等を計画。また、委託業務として、管渠実施設計及び終末処理場の詳細設計、下水道

①収益的収入及び支出



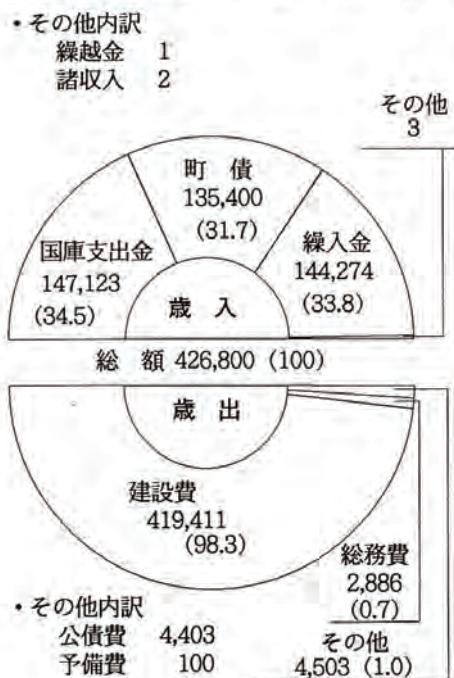
②資本的収入及び支出



【歳入】
国庫補助金一億四千七百十二万三千円、一般会計繰入金一億四千四百二十七万四千円その他、町債、繰越金、諸収入等を合わせて四億二千六百八十万円を計上しています。

下水道事業会計

単位：千円（）内は%



台帳作成のための航測図化等を計画し、予算計上しています。

【歳出】
総務費として、負担金補助及び交付金と繰入金、建設費として、人件費、工事請負費委託料等を合わせて四億二千六百八十万円を計上しています。

佐々町

工場団地造成事業

内陸工業用地造成事業債の償還金利子千八百八十二万二千円及び、事務的経費五十七万八千円を一般会計からの繰入金により計上しています。

土地取得

公共用地先行取得等事業債の償還金利子七百九十五万六千円を計上しています。

佐々町組織・職員名一覧表

◎印は係長・主任 ○印は主査 (兼)は兼務 (嘱)は嘱託 (委)は委託

平成5年4月1日付

□は4月1日付異動者

町長 清原 恵一郎	助役 小田 進	企画課	課長 大瀬 康政 補佐 松田 政喜	企画調整係	◎木原山龍文・○川内野 勉
		総務課	課長 森田 迪夫 補佐 山本 邦夫	企画振興係	◎永安 文男・松本 留美
				商工統計係	◎須藤 敏規・江田 幸治
		税務課	課長 宮村 昭彦 補佐 森田 稔	総務係	◎中村 正一・○大瀬 裕子・安達 伸男・大瀬 三郎 (電交委)井上 明子・川瀬 幸代
				財務管財係	◎(兼)山本 邦夫・松本 孝雄・(嘱)松田 吉光・萩田 憲一
		生活課	課長 佐藤 勝広 補佐 前川 隆行 (福祉担当) 補佐 大久保アツ子 (総合受付担当)	広報防災係	◎三好 邦彦
				町民税係	◎川上 一郎・阿部 豊
		保健課	課長 永井 良一 参事 湖上 勝利 補佐 前川多賀子	固定資産税係	◎谷添 正人・内田 明文
				納税係	◎(兼)森田 稔・大平 弘明
		農林課	課長 黒石 正毅 補佐 西嶋 敏彦	地籍管理係	◎北川 敏夫
				住民係	(総合受付担当)◎古野 英幸・北村 葉子
		建設課	課長 小岸 元清 補佐 山下 義則 補佐 古庄 剛	福祉係	◎内野 晴美・藤永 大治
				住宅管理係	◎浜野 互
		保育所	第1保育所長 佐々木テル子 第2保育所長 上野 増子 第3保育所長 上滝 美子	環境衛生係	◎中村 正己・山本 勝憲
				国保年金係	◎築城 律子・力竹 哲也・水本 淳一
水道課	課長 中田満寿雄 補佐 吉良 忠男	健康づくり係	◎(兼)前川多賀子・平杉 直美(保健婦)		
		業務係	◎大瀬 忠昭・金子 剛		
下水道推進室	室長 永松 武幸 補佐 山口 澄夫	農政係	◎松田 弘海・川崎 順二・今道 晋次		
		耕地係	◎(兼)西嶋 敏彦・○北村 英彦		
参事 野田 八郎		管理係	◎古庄 剛・富田 広司		
		建設係	◎浜田 能久・筒井 勝・山村 輝明		
教育委員会	教育長 清水 浩 次長 天島 良夫 参事 松田 征男	維持係	◎北村伸太郎・小村 登		
		第1保育所	○門田 清子・○池田八恵子・○末永ユウ子・富田 真弓・浦川 幸枝		
議 会 事 務 局	事務局長 山下 裕康・○田島 須美・○中村 義治 事務局長 野田 龍夫・◎村上千鶴子 事務局長 (兼)永井 良一・◎大浦 富夫・吉田 節子 看護婦長 橋口 正子◎宮崎 勝子・田島佐和子・横田 絹子・丸田 文江・松本 智子	第2保育所	○松永 温子・○岡本 道代・○堤 富実代・松田 知子・福田 昭代		
		第3保育所	○浦田佐美子・○西牟田文子・氏田恵美子・志水みどり・寺田八代子 宮島真知代		
議 会 農 業 委 員 会	所長 原田 達郎	施設係	◎首 幸男 ◎松本 康弘・横田 孝之・大石 俊一		
監 査 事 務 局	事務局長 横尾章二郎・工場長 井村 操・辻 重徳・山藤 健一・前川 利一	計画係	◎前田 多聞		
選 挙 管 理 委 員 会	書記 書記長	出納係	嶋崎 和幸・指定金融機関派遣職員		
公 民 館	館長	総務係	◎横田 憲治・○山口 一子		
勤 労 青 少 年 ホ ー ム	館長	学校教育係	◎(兼)横田 憲治・○(兼)山口 一子・(嘱)田口 春美		
文 化 会 館	館長	佐々中学校	坂本美代子・山内 輝美・(委)松野ひとみ		
学 童 農 園	園長	口石小学校	森田 利子・池田きみえ・(委)出端 朝子		
佐世保広域圏北部塵芥処理一部事務組合	管理者(佐々町長)清原恵一郎	佐々小学校	小林 洋子・(委)福田 広子		
		佐々幼稚園	(園 長)十時 淳・○山高ミドリ・○柴山 政江		
		社会教育係	◎駕淵 育雄・(嘱)内田 義則・(嘱)今泉 米子		
		社会体育係	◎山本 健一		

事務局長	山下 裕康・○田島 須美・○中村 義治
事務局長	野田 龍夫・◎村上千鶴子
事務局長	(兼)永井 良一・◎大浦 富夫・吉田 節子
看護婦長	橋口 正子◎宮崎 勝子・田島佐和子・横田 絹子・丸田 文江・松本 智子
書記	◎(兼)岡本 省三
書記長	(兼)森田 迪夫・書記長補佐(兼)山本 邦夫・書記◎岡本 省三
館長	(嘱)小森ツルヨ・(兼)駕淵 育雄・管理人(委)福本 徳一・福本アイ子
館長	(兼)天島 良夫・指導員(委)浜村 秀男 資料館図書室管理員(委)山科 郁子
館長	(兼)清水 浩・管理員(委)山永 榮
園長	(委)末永 太一・(委)川内 誠一・(委)浦川 学・(委)浦川ヤスエ
事務局長	横尾章二郎・工場長 井村 操・辻 重徳・山藤 健一・前川 利一